



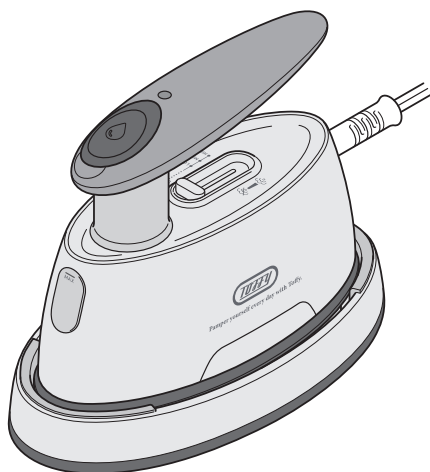
# ハンディアイロン&スチーマー

品番：HW-SM2

## 家庭用

### もくじ

|                 |    |
|-----------------|----|
| 安全上のご注意 .....   | 2  |
| 使用上のご注意 .....   | 4  |
| 各部の名称 .....     | 5  |
| お使いになる前に .....  | 6  |
| 使い方 .....       | 7  |
| 使い終わったら .....   | 13 |
| お手入れのしかた .....  | 14 |
| 故障かなと思ったら ..... | 15 |
| 製品仕様 .....      | 16 |
| 保証書 .....       | 16 |



## ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。  
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

# 安全上のご注意

## ●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



### 警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



### 注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## ●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ■電源プラグ・電源コードについて

### 警告



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。

火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、その場を離れない。

感電・ショート・火災の原因となります。



交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合はふき取る。

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

### 注意



収納時に電源コードを本体に巻き付けない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。

感電・ショートの原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。

思わぬ動作によるやけど、火災・故障の原因となります。



高温部にコードが触れないようにする。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードはすべてほどいて使用する。

電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用すると、火災・感電の原因となります。

水タンクに注水する際は電源プラグをコンセントからはずす。

感電・ショートの原因となります。

## ■ 本体の取り扱いについて



**分解・修理・改造はしない。**  
火災・感電・けがの原因となります。

**可燃性ガス（ベンジン・シンナー・スプレーなど）が発生するものの近くでは使用しない。**  
火災の原因となります。

**本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。**  
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

**本体を水につけたり、水をかけたりしない。**

注水時にも本体に水があまりかからないように注意してください。  
火災・ショート・感電の原因となります。

**室外では使用しない。**  
火災・故障の原因となります。



**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。**  
感電・けが・やけどの原因となります。

**衣類・布類以外のものには使用しない。**  
思わぬけが・やけど・感電・故障の原因となります。

**目に見える損傷があった場合、水漏れを起こしている場合は使用しない。**  
感電・けが・やけどの原因となります。



**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を中止する。**  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

**専用の置き台以外使わない。**  
火災・やけどの原因となります。



**本製品は一般家庭用です。業務用として使用しない。**  
火災・故障の原因となります。

**使用中や使用後しばらくは、高温部には触れない。**  
やけどの原因となります。

**落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えない。**  
故障・破損・けが・感電の原因となります。

**破損や変形があるときは絶対に使用しない。**  
感電・けが・故障の原因となります。

**壁や家具の近くで使用しない。**  
熱で壁や家具が変形・変色したり、やけど・けがの原因となります。

**使用後は動作モードスイッチを OFF にして専用の置き台に置き、冷めるまでアイロン面に手などを近づけない。**  
けが・やけどの原因となります。



**置き台は不安定な場所や熱に弱い敷物の上に置かない。**  
けが・やけど・破損の原因となります。

**水タンクには常温の水道水以外を入れない。**  
故障の原因となります。

**お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しない。**  
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

**シルクなどの熱に弱い生地や皮革製品などにはスチームをかけない。**  
生地の変色・変形の原因となります。



**注水は、必ず付属の注水カップを用い、水位窓をよく確認しながら行う。**  
水位窓の MAX ラインを超えないように注意して行ってください。  
やけど・感電・故障の原因となります。

# 安全上のご注意 (続き)



低温・中温表示などの熱に弱い生地、色の濃い生地、特殊加工品などにスチームをかけるときは、目立たない箇所を試しがけをする。

生地を傷める原因となります。異常が確認できたら、それ以上の使用はしないでください。



アイロンとして使用する場合は、アイロン台など平らで安定した場所で使用する。

けが・やけど・破損の原因となります。

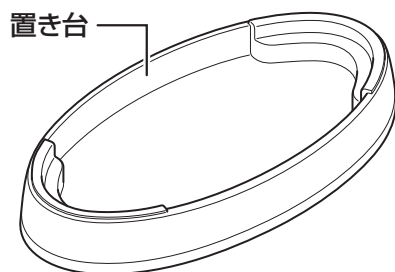
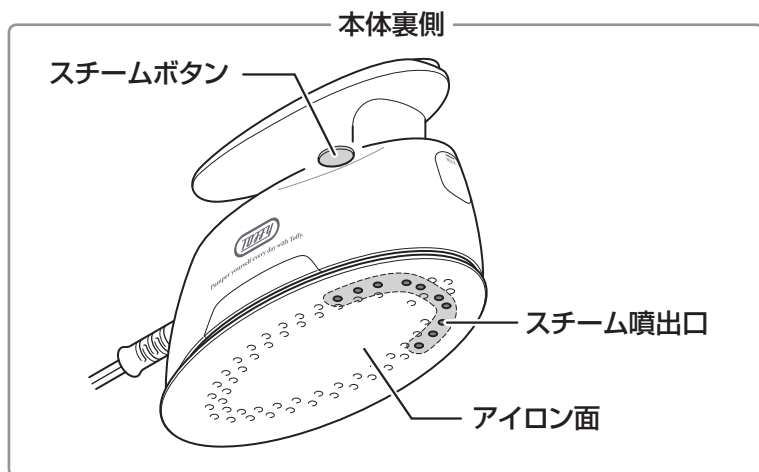
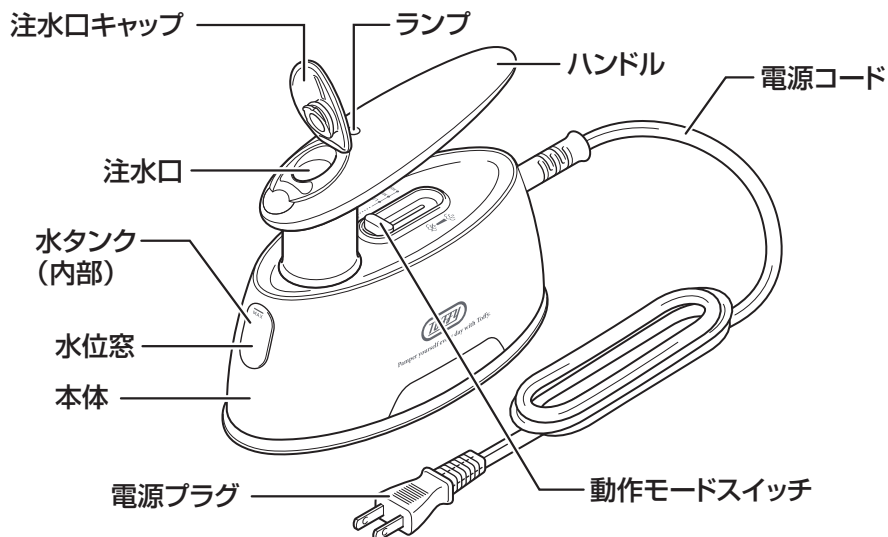
使用後は排水し、十分にお手入れして乾燥させる。

破損の原因となります。

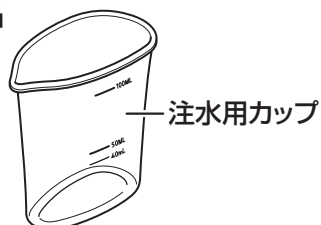
## 使用上のご注意

- 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。  
火災・故障の原因となります。
- 衣類・布類専用です。それ以外のものには使用しないでください。
- 必ず衣類・布類の取扱い表示に従って使用してください。  
スチームは約 100℃、アイロン面は約 200℃まで上昇します。衣類の取扱い表示に合わせてご使用ください。
- 濃い色の衣類、低温・中温の洗濯表示の衣類にアイロンをかけるときには、あて布をしてください。
- 水タンクに常温の水道水以外のものを入れないでください。  
故障の原因となります。
- 使用後は排水して、十分にお手入れして乾燥させてください。  
使用後そのままにしておくと、カビ・サビなどの原因となります。
- コートや毛足の長い衣類にスチームをかける場合は、生地から少し離して行ってください。皮革製品などには使用しないでください。  
衣類を傷める原因となります。
- 特殊加工品などにスチームをかけるときは、かならず目立たない所で試しがけをしてください。
- ぬれた衣類にはスチームをかけないでください。  
湯滴が飛び出し、やけどの原因となります。
- スチームは室温や湿度、部屋の明るさや背景の色によっては、見えにくいことがあります。見えづらくてもスチームは高温です。手で確認するなど絶対にはしないでください。
- 動作中や動作直後はアイロン面が高温になります。使用後はすぐに触ったりせずに、専用の置き台に載せて、十分冷めるまで触らないでください。
- 衣類に熱や水分に弱いボタンなどの服飾物がついている場合は、スチームをかけないでください。
- スチームをかけるときは、周囲に人や動植物、熱に弱いものがないことを確認してから行ってください。衣類によっては、生地を透過し、後方までスチームが到達する場合があります。
- 洗濯のりやスプレーのりなどの仕上げ剤を使用する場合は、アイロン機能のみを使用し、スチームをかけないでください。
- ファスナーやボタンなどの固いものにアイロンをかけないでください。
- アイロン面にのりが付着した場合はお手入れを実施してください。そのまま使うと、のりがこびりついたり、衣類に汚れが付着することがあります。

# 各部の名称



## 付属品

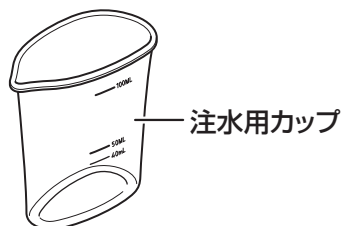


# お使いになる前に

必ず布類の取扱い表示に従ってください。

初めて使用するときは、においや煙が若干出ることがありますが、故障ではありません。

- 初回開封時に、水タンクの中に検査用の水が少量残っている場合があります。安全な水ですのでそのままご使用にいただけますが、気になる場合には一度水道水で洗浄してからご使用ください。
- 衣類によっては、アイロンやスチームがかけられなかったり、かけるときにあて布などが必要な場合があります。
- ファスナー、ボタンなどの金属（硬いもの）にアイロン面、スチーム噴出口をあてないでください。  
本体（アイロン面、スチーム噴出口）を傷つける原因となります。
- 水タンクへ給水するときは、付属の注水用カップを使用してください。  
水タンクから水があふれて故障の原因となります。



# 使い方

## 水タンクの給水

**1** 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認する。

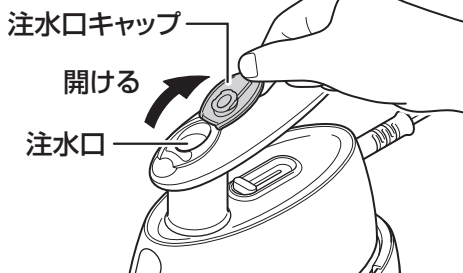
**2** 付属の注水用カップに水を入れる。

水タンクの容量は MAX 位置で約 140mL です。  
常温の水道水以外のものを入れないでください。



**3** 注水口キャップを開ける。

注水口キャップを強く引っ張らないでください。



**4** 水タンクに水を入れ、注水口キャップをしっかり閉める。

必ず水位窓で水の量を確認しながら入れてください。

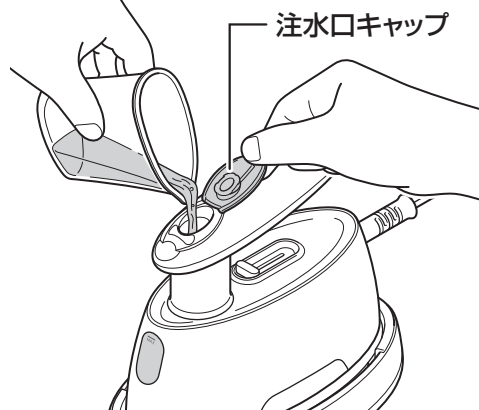
注水口キャップは確実に閉めてください。

本体外側に水が付着したときはよく拭いて水分をとってください。

### ⚠ 注意

- 140mL 以上の注水はできません。
- 水が MAX ラインを超えないように注意してください。

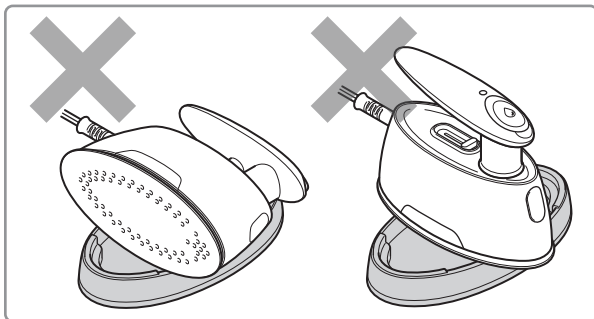
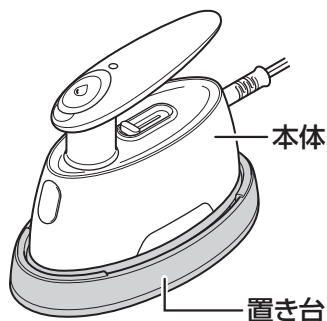
<水位窓>



# 使い方 (続き)

## 置き台への置きかた

- 使用しないとき、本体を保管するときは本体を置き台に置いてください。
- 置き台は不安定な場所や熱に弱い敷物（じゅうたん、畳、ビニールクロス、樹脂製のものなど）の上に置かないでください。
- 置き台に置くときは、アイロン面が置き台に収まるように置いてください。横向きなど誤った置きかたをしないでください。

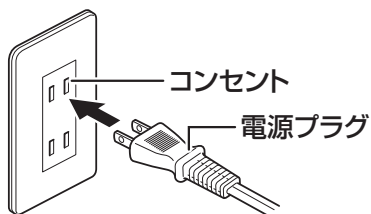
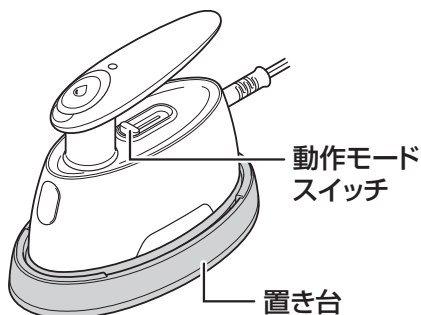


**⚠ 注意** 置き台の上に置いたまま、スチームを出さないでください。

## 電源の入れ方

### 1 電源プラグをコンセントに差し込む。

本体を置き台に置き、動作モードスイッチが OFF になっていることを確認した後に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。





## スチーマーとしての使い方

### 1 スチーム量を調節する。

動作モードスイッチで MID 以上の動作モードを選択します。

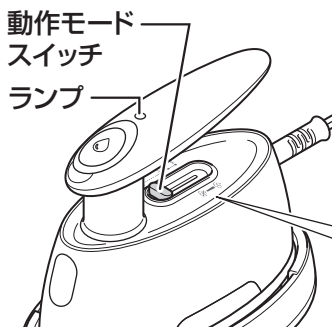
MID 以下の動作モードはスチームを出すことはできません。

動作モードを変更後、規定温度に達してスチームを出す準備が完了すると、ランプが点滅から点灯に変わります。

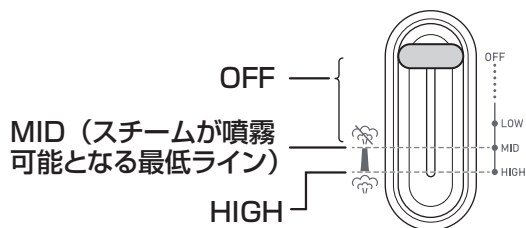


**注意**

動作モードを LOW 以上に設定すると、必ずアイロン面も連動して高温になります。アイロン面と連動させずにスチームを出すことはできません。スチーマーとして使用するときも、アイロン面には絶対に触れないようにしてください。



＜動作モードスイッチ＞



### 2 スチームボタンを押す。

スチームボタンを押している間スチームが出ます。

※動作モードを切り替えると排出されるスチームの量を調節することができます。

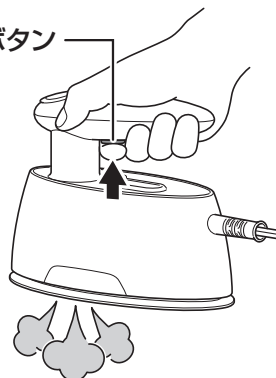
| 動作モード | スチーム量   |
|-------|---------|
| MID   | 約 10g/分 |
| HIGH  | 約 20g/分 |



**注意**

スチームは非常に高温なので、やけどに注意してください。

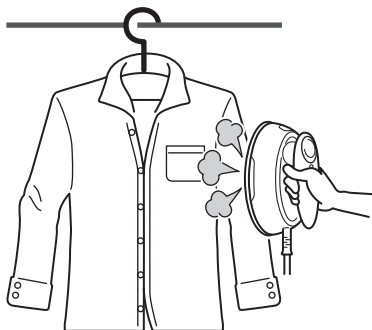
スチームボタン



# 使い方 (続き)

## ハンガーにかけてスチームをかける

- ハンガーが動かない安定した場所で使用してください。
- 熱に弱いものや色の濃いもの、生地  
の厚みによっては傷める場合があり  
ます。  
目立たない所で試しがけをしてくだ  
さい。
- レーヨンは長時間スチームをあてると縮むことがあります。
- スチーム排出時には、ポンプの動作音と振動が発生します。

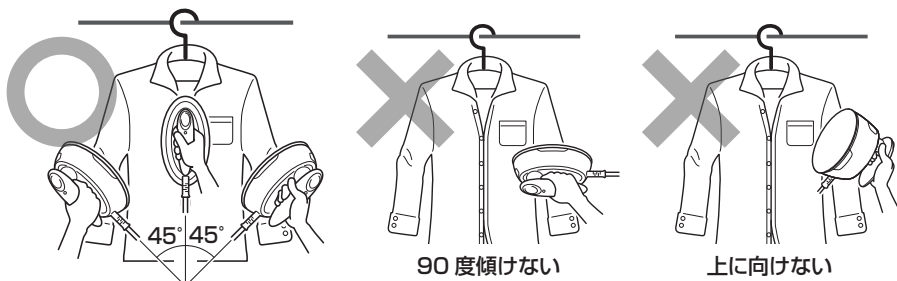


## ⚠ 注意

- 衣類を身につけたまま、スチームをかけないでください。  
やけどの原因となります。
- 濡れた衣類にはスチームをかけないでください。  
湯滴が飛び出し、やけどの原因となります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーなどにかけて、対象物の周囲や背面などに人や動植物、熱に弱いものがないことを確認してから使用してください。  
衣類によっては、生地を透過し、後方までスチームが到達する場合があります。
- 衣類に熱や水分に弱いボタンなどの装飾物がついている場合は、スチームをかけないでください。

## ポイント

- 生地によっては裏地にスチームをかけるとシワが伸びやすいものもあります。
- 厚めの生地は長めにスチームをかけてください。
- 衣類のボタンを全部閉めて、衣類の端を引っ張りながらスチームをかけてください。  
スチームでやけどをしないように注意してください。



スチームをかけるときは、本体を45度程度の範囲で動かしてください。90度傾けたり、上下を反対にしないでください。スチームが出ないことがあります。水量によっては上記の角度以外でもスチームが出にくい場合があります。また、アイロン面を上方向に向けると注水口から水が出る場合がありますので、手前側に倒しすぎないでください。

## アイロンとしての使い方

### 1 アイロンの温度を調整する。

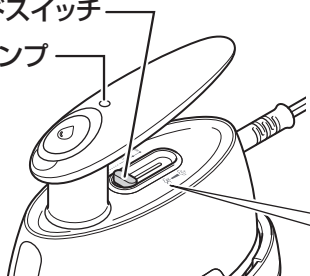
動作モードスイッチで LOW 以上のモードを選択します。

温度上昇開始位置以上まで動作モードスイッチを動かすと、加熱が始まります。選択した温度になるまでランプが点滅し、加熱が終わると点滅から点灯に変わります。

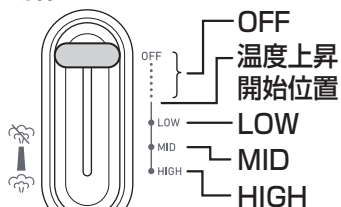
温度は衣類の取扱い表示に従ってください。

動作モードスイッチ

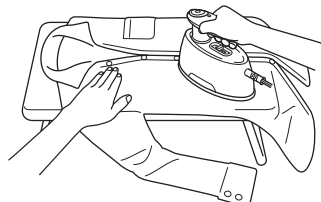
ランプ



＜動作モードスイッチ＞



| 動作モード | アイロン面中心の温度 | 洗濯表示 |
|-------|------------|------|
| LOW   | 約 100℃     |      |
| MID   | 約 150℃     |      |
| HIGH  | 約 200℃     |      |



※アイロンかけは設定温度の低いものから行ってください。温度を下げるように動作モードを変更した場合、規定の温度に下がるまで 20 ～ 30 分程度かかります。また、動作モードを下げた場合はランプが点灯し続けます。

# 使い方 (続き)

## アイロンとスチームを同時にかける

スチームを出しながら、アイロンをかけることもできます。  
スチームの勢いが強いので、アイロン台によってはスチームが透過してしまう場合があります。必ず事前にアイロン台でのスチームの透過する程度を確認してから使用してください。

### 注意

- 濡れた衣類にはスチームをかけないでください。  
湯滴が飛び出し、やけどの原因となります。
- 洗濯のり、スプレーのりなどの仕上げ材がついている場合は、スチームをかけないでください。
- 衣類を身につけたまま、スチームをかけないでください。  
やけどの原因となります。
- 衣類に熱や水分に弱いボタンなどの装飾物がついている場合は、スチームをかけないでください。
- ボタン・ファスナーなどの固いものにはかけないでください。  
傷やアイロン面のコート材がはがれる原因となります。

### ポイント

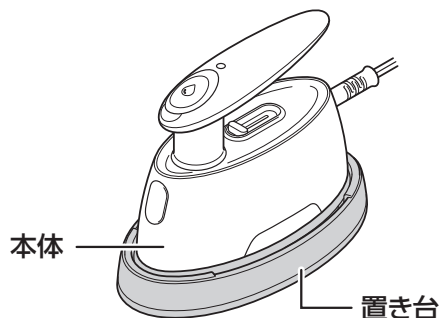
- 生地によっては裏地にスチームをかけるとシワが伸びやすいものもあります。
- 厚めの生地は長めにスチームをかけてください。
- アイロンをかけるときは、片方の手で衣類の端を引っ張ったり、衣類を押さえたりしながらアイロンをかけてください。

# 使い終わったら

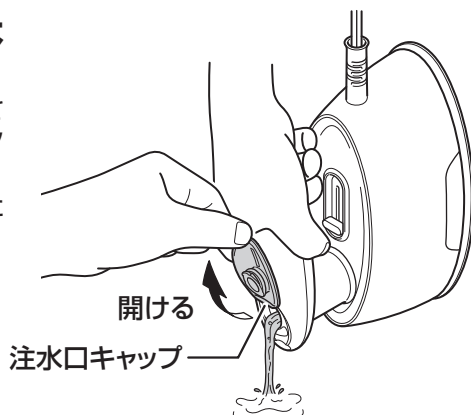
**1** 動作モードスイッチをOFFにする。  
ランプが消灯します。

**2** 電源プラグをコンセントから抜く。

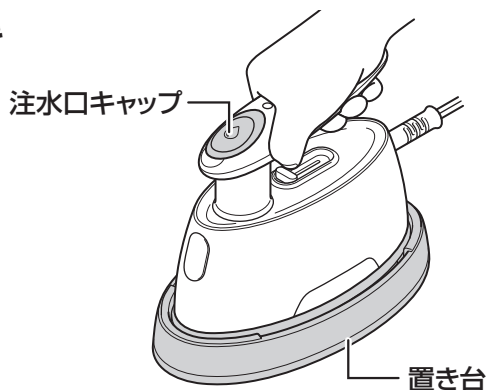
**3** 置き台に置いて、1 時間半以上放置し、本体を冷ます。  
使い終わってすぐの本体は、アイロン面が高温です。  
必ず置き台に置き、アイロン面を十分に冷ましてください。



**4** 水タンクから水を捨て、よく乾かす。  
使用後は毎回水を捨ててください。詳しくは7ページ「水タンクの給水」を参照してください。  
その後、注水口キャップを開けた状態でよく乾かしてください。



**5** 注水口キャップを閉め、置き台に置く。



# お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用ごとにお手入れしてください。



## 警告

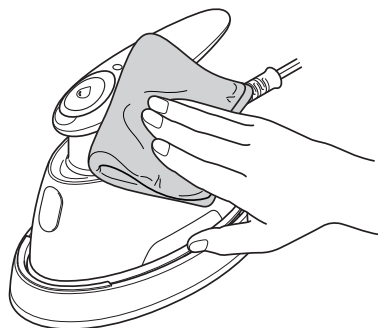
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。  
やけどの原因となります。
- 本製品のお手入れにシンナーやベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使用しないでください。
- 本体は防水加工など施していませんので、お手入れをするのに、直接水につけたり、水をかけたりしないでください。  
感電・ショート・火災の原因となります。

## 本体の汚れ

汚れたときは湿らせた布で拭いてください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れがとれなくなることがあります。

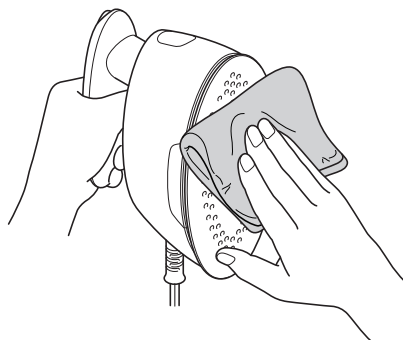
- 汚れがひどい場合は、食器用洗剤を溶かした水を含ませたふきんで拭き取り、さらに乾いたふきんで水分を拭き取ります。



## アイロン面の汚れ

ぬれた布で拭いてください。

- スチーム噴出口の周りにカルキが付着し始めた場合は、つまようじなどで除去してください。掃除はスチーム噴出口の周りにとどめて、中にまでつまようじを差し込まないでください。折れて取り出せなくなる場合があります。また、金属製の道具では除去しないでください。アイロン面を傷める原因となります。のりなどの仕上げ材が付着している場合は、ただちに取り除いてください。



# 故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

| こんなとき                 | 原因                                                                                                                | 対処方法                                                                                                                      |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スチームが出ない              | スチームボタンを押していない                                                                                                    | スチームボタンを確実に押し続けてください。<br>→ 9 ページ                                                                                          |
|                       | 水タンクに水が入っていない                                                                                                     | 水タンクに水を入れてください。<br>→ 7 ページ                                                                                                |
| スチームが少ない              | スチームは使用状況（室温・部屋の明るさ・スチームの温度）により見えにくい場合があります。<br>※30cm 程度離れた状態で鏡に向けてスチームを出し、鏡が曇ればスチームが出ていることが確認できます。（やけどに注意してください） |                                                                                                                           |
|                       | 常温の水道水以外の液体を水タンクに入れた                                                                                              | 水タンク内の液体を排水し、きれいな水道水を入れてください。                                                                                             |
|                       | スチーム噴出口がつまっている                                                                                                    | つまようじなどでスチーム噴出口の周りを掃除してください。<br>※スチーム噴出口につまようじなどは差し込まないでください。折れて取り出せなくなる場合があります。また、金属製の道具を使って除去しないでください。アイロン面を傷める原因となります。 |
| スチームを使用しているときに、白い粉が出る | 水に含まれるミネラルなどが付着している                                                                                               | 衣類に付着した場合は、払って取ってください。                                                                                                    |
| 使用中に、「ブー」音や振動を感じる     | タンクの水を引き込むポンプから音や振動がしている                                                                                          | 異常ではありません。<br>そのままご使用ください。                                                                                                |
| アイロン面が汚れる             | のりなどの仕上げ材がアイロン面に付着している                                                                                            | アイロン面をよくお手入れしてください。のりなどの仕上げ材を利用するときは、多量にならないように注意いただき、アイロンをかけるときにあて布を使用することをおすすめします。                                      |
| アイロンをかけると布地がこげる       | 洗濯表示に従い、適切な温度の動作モードを選択してください。<br>→ 11 ページ（「アイロンの温度を調整する。」を参照）                                                     |                                                                                                                           |
|                       | あて布を使用してください。                                                                                                     |                                                                                                                           |
|                       | 洗濯洗剤が残っていると、焦げつくことがあります。すすぎの回数などを調整してください。                                                                        |                                                                                                                           |

## 長期間ご使用のハンディアイロン&スチーマーは定期的な点検をお願いします

- ・電源コードが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷などがある。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・そのほか異常や故障がある



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

### お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日を除く）

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

# 製品仕様

|          |                                                                                                |        |         |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|
| 品名       | Toffy ハンディアイロン&スチーマー                                                                           |        |         |
| 品番       | HW-SM2                                                                                         |        |         |
| 本体寸法     | 約 191(W) × 143(H) × 92(D) mm (置き台・電源コード含まず)<br>約 214(W) × 163(H) × 115(D) mm (置き台使用時、電源コード含まず) |        |         |
| 重量       | 約 1,000g (置き台含まず)<br>約 1,170g (置き台含む)                                                          |        |         |
| 電源       | AC100V 50-60Hz                                                                                 |        |         |
| 定格消費電力   | 1200W                                                                                          |        |         |
| 電源コード長   | 約 250cm                                                                                        |        |         |
| スチーム量    | 約 20g/分 (最大)                                                                                   | 水タンク容量 | 約 140mL |
| スチーム動作時間 | 約 7 分間 (HIGH 使用時)                                                                              | 生産国    | 中国      |
| 付属品      | 置き台、注水用カップ、ユーザーズガイド (保証書含む)                                                                    |        |         |

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。